



主催：文部科学省未来医療研究人材養成拠点形成事業・筑波大学『次世代の地域医療を担うリーダーの養成』

医学生のための つくば総合診療塾

特別編

～授業では学べない

家庭医療・総合診療的アプローチ トレーニングコース～

総合診療、家庭医療に興味をお持ちの医学生にむけて、将来医師として役に立つ知識やスキルの修得を狙いとしたコースを今年度も開講します。今年度は年間を通して月1回の講義・演習 + 長期休みを利用した地域実習の形で実施します。1年を通しての参加により、体系的に学ぶことができます。また、興味のあるテーマをえらんでの参加も可能です。

「患者さんに全人的な関わりができるような医師になりたい」「漠然と地域医療に興味がある」という方にもおすすめです。低学年の方には、臨床シナリオにでてくる患者さんの問題が広く深くみえるようになり、高学年の方には、クリニカルクラークシップで一步進んだ担当患者さんの把握や関わり方のヒントが得られるような学びにつながります。皆様のご参加をお待ちしています。

開催案内

テーマ：「『働く』を考えることのできる医療人をめざそう」

皆さんは、1日3回処方箋を3交替勤務者は、薬をどう飲んでいるか知っていますか？職場に適應できていない人に、職場を変えるよう主治医が指示したら、職場では大変なことに……。 「働く」と治療を両立させるため、産業医は患者さんの職場や会社、ときに家族にまでアプローチし、「働く」をふまえた治療の実践を目指し、日々奮闘しています。本セミナーでは、産業医が実際の現場で出会うことの多いケースを元にした事例を扱い、ケーススタディ方式で全人的医療の実践について学びます。産業医が現場で何を考え、職場のリソースをどのように駆使して、全人的医療を実践しているのか？ ワークを通して「働く」ことを考える事のできる医療人を目指しましょう！

担当講師 新日鐵住金株式会社 鹿島製鐵所 安全環境防災部安全健康室 田中 完・井上 大輔
総合診療科 阪本 直人

日時：平成28年4月21日(木) 18:00～19:45

対象者：医学生全学年～研修医等（筑波大学以外も可）
／参加費無料・申込み先着順（空席がある場合に限り、当日参加可）

場所：筑波大学附属病院 地域医療システム研究棟1階 遠隔教育討議室
（裏面に地図を掲載しています）

※お申込みは、開催日の1週間前までに以下にお知らせください。

筑波大学附属病院 総合診療医養成事業推進支援室

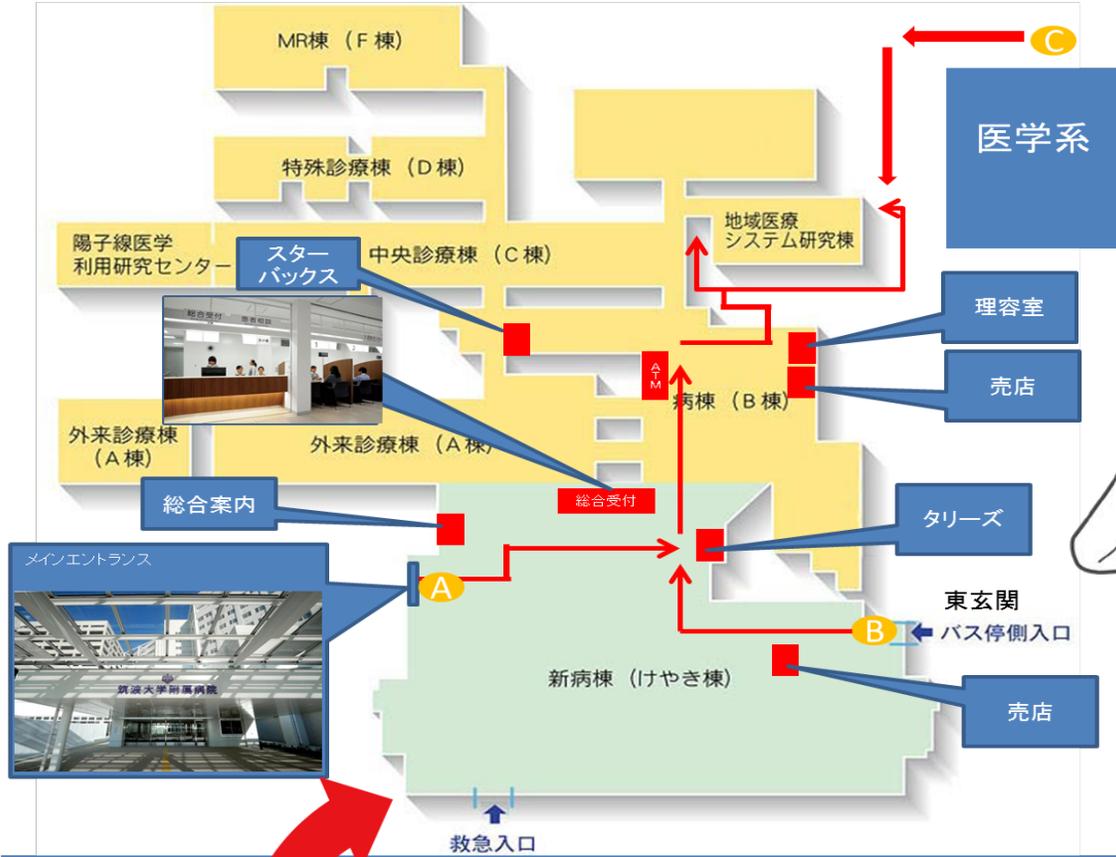
E-mail：mirai.iryu@un.tsukuba.ac.jp 電話：029-853-3339（担当：早川）

♪学生運営スタッフ募集中です♪



みらいちゃん

総合臨床教育センター(地域医療システム研究棟)までのアクセス



Dr.ホームズ



- A** 本院の駐車場利用または筑波大学附属病院行のバスに乗った場合
- B** 「筑波大学中央」または「筑波大学循環(右回り)」行のバスに乗り、筑波大学病院で降りた場合
- C** おいこし「追越学生宿舎前」で降りた場合

筑波大学
附属病院

